

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.107 2004.3.31

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学) 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局

Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246

E-mail:JSEI@hj.sanno.ac.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei

日本教育情報学会第20回年会 発表申込み受付中

5月15日(土)まで

8月18・19日国立オリンピック記念青少年総合センターで開催

## ==== 年会費お支払いのお願い ====

2004年度の会費の振込用紙を同封いたしますので、手続きをお願いいたします。  
本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。  
なお、2003年度までの年会費のお支払いが、まだお済みでない方は新年度会費と合わせて手続きくださいようお願いいたします。(お支払いいただいた後、振込金受領書は大切に保管してください)

## ..... 退会される方へ .....

退会届の特定の書式はございません。退会される方は、A4の書面(郵送またはFAX)で、事務局までご提出ください。

記載事項は、退会理由、会員番号、氏名、届出日、退会期日(年度)、印です。その他に連絡が必要と思われる事項がありましたら、合わせてご記入ください。

なお、未払いの過年度分の会費は、お支払いいただきますようお願いいたします。

また、退会後にも過年度中に発行予定の刊行物を送付する場合がありますので、ご了承ください。これらも一切不要の場合は、退会届にその旨をご記載ください。

# 日本教育情報学会第20回年会 =研究発表申込締切：5月15日(土) =

===大会スローガン『教育情報、20年の歩み』===

2004年8月18日(水)・19日(木) / 国立オリンピック記念青少年総合センター

- ◎ 記念講演 「教育情報の20年の歩み」 会長 木田 宏  
鼎 談：会長 木田 宏，理事 有菌 格（静岡文化芸術大学），理事 後藤忠彦（岐阜女子大学）
- ◎ パネル討論 「21世紀のリテラシー」 基調提案：堀口秀嗣（常磐大学）  
コーディネータ：本郷 健（川村学園女子大学） / パネリスト：研究者，現場の代表者等3名

## ◎研究発表申込み方法

- ①申込締切 2004年 5月15日(土)
- ②申込方法 「課題研究発表申込書」または「一般研究発表申込書」に必要事項をご記入の上，年会実行委員会事務局へ郵送してください。

※申込書は学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei>) または Newsletter106 に同封の用紙をご利用ください。

### ③課題研究に関する注意事項

- ・課題研究は下記「課題研究テーマ」から選びそのテーマに合った研究発表題目をつけてください。
- ・課題研究発表は年会実行委員会で調整し，各テーマごとに担当コーディネータが検討し，審査します。その結果，発表否となる場合もあることをあらかじめご了承ください。なお，課題研究として発表できない場合には，一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができる場合もあります。
- ・第1発表者として課題研究発表は，1人につき1件のみとします。ただし，年会実行委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

### ④一般研究に関する注意事項

- ・第1発表者としての一般研究発表は，1人につき1件のみとします。
- ・一般研究発表の発表者は，発表の時点で会員である必要があります。非会員の方は，事前に学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は年会事務局にご請求ください。

### ⑤発表申込書の書き方について

- ・講演者とは，研究発表会場で口頭発表する会員です。 ・共同研究者は何人でもかまいません。
- ・概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・キーワードとして，下記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。
- ・会場で使用できる機器は，プロジェクタ，書画カメラ，OHPです。パソコンは会場で用意できませんので，使用する場合には持参する機器の欄に記入してください。
- ・執筆要項などの送付先は，発表者への連絡時期である5月下旬を想定して，自宅または勤務先に〇をしてください。

## ◎発表者への連絡

- ①発表者には，5月下旬に発表の可否を連絡します。
- ②発表を可とされた申込者に対しては，論文の執筆要項をお送りします。
- ③論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で，ワープロ出力したものを提出していただきます。

## ◎課題研究のテーマ

課題1 インタラクティブな学習環境の開発 コーディネータ 加藤直樹（岐阜大学）

今やデジタルコンテンツは有り余るほど開発されている。しかし，学習材としての利用価値はあるのか，授業で活用できるのか。インタラクティブな学習環境の構築，教材の共有化，校内ネットワークなどに関する研究はどこまで進んでいるのか。これらの取り組みに対する先進的な研究を提案していただく。

課題2 e-Learning コーディネータ 安達一寿（十文字学園女子大学）

ブロードバンド時代を迎えて，動画コンテンツが豊富に提供されるようになった。そのような豊富な教育用コンテンツを利用したブロードバンド時代の学習環境や，学習情報管理システムなどに関する研究はどこまで進んでいるのか。今後の発展を見通しながら議論していただく。

課題3 教師教育と生涯教育 コーディネータ 宮田 仁 (滋賀大学)

公立学校にも外部評価システムや、運営委員会による学校経営参加など様々な教育行政の改革が提案されている。その本質は教員の資質向上、指導力向上が問われているのではないか。教員研修や教員養成の問題から社会教育、生涯教育、NPOなどに関する研究を取り上げ幅広く議論していただく。

課題4 教育情報の流通 コーディネータ 村瀬康一郎 (岐阜大学)

学校現場に役立つ情報、あるいは、教員が求める情報とは何か。教材データベースは学校における「知」を共有できるのか。どのようなシステムを構築すれば教育情報が学校まで流通するのだろうか。学校図書館は学習センターや教材センターの機能を生かしつつ教育情報の流通に寄与できるのだろうか。昭和60年代に各地で構築された教育用データベースを振り返りつつ、これからの教育情報の流通に関して議論していただく。

課題5 教科「情報」のあるべき姿 コーディネータ 中村祐治 (横浜国立大学)

平成15年度からスタートした普通教科「情報」は様々な問題を抱えながら実施されている。教材やカリキュラムの問題、情報A・B・Cの履修状況などに関する研究を報告していただいて、これからの10年間の教科「情報」のあり方を議論していただく。

課題6 教育と著作権 コーディネータ 坂井知志 (常磐大学)

平成14年7月の「知的財産戦略大綱」を受けて、著作権分科会は平成15年1月に報告書を提出し、6月に「著作権法の一部を改正する法律」が制定された。この法律は平成16年1月1日から施行されたが、はたして学校現場では授業や学習がし易くなったのだろうか。一部改正された著作権と教育の関係から議論を深めていただく。

○一般研究のテーマ

- ・発表内容は「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。「教育情報」は、大きくみて「教育に関する情報」と「情報に関する教育」が含まれています。
- ・想定される発表セッション(キーワード)は次の通りです。(五十音順)

インターネット、遠隔教育、遠隔教育システム、学習ソフトウェア開発(教育用ソフトウェア)、学習情報管理システム、学習評価、教育システム、共同学習(遠隔協働学習)、交流学习、授業分析、児童による情報作成、生涯学習、情報教育(カリキュラム論を含む)、情報教育システム、情報教材開発(コンテンツを含む)、情報検索、情報処理教育、データベース、動画教材の開発、ネットワーク(活用、管理、LAN)、プレゼンテーション、ホームページ、マルチメディア(活用、開発等)

◎インフォーマルミーティング

今回、年会実行委員会が予定しているパネル討論や課題研究以外に、ミーティングを考えているグループにも会場を提供いたします。年会実行委員会にお問合せください。(開催を保証するものではありません) ex. 企業と学校現場との協同による「教育産業から見て、教師が欲しがっている情報とは」

◎参加費について

- (会員事前申込) 参加費3,000円/資料代3,000円/懇親会費5,000円(予定)  
(会員当日・非会員) 参加費4,000円/資料代3,000円/懇親会費5,000円(予定)  
※参加申込みは、後日送付する「年会参加申込書(兼)参加費振込用紙」(郵便振替)をご利用ください。

◎宿泊について 宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。

◎これからのスケジュール(予定)

- ①発表申込締切 5月15日(土) ②発表決定通知 5月31日(月)  
③論文提出締切 7月15日(木) ④参加申込締切 8月10日(火)(=参加費支払締切)

==発表申込書送付先・問い合わせ先==

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28  
十文字学園女子大学社会情報学部 井口研究室内 日本教育情報学会第20回年会実行委員会  
Tel 048-477-0555(代表) Fax 048-478-9367  
メールによる問合せ: 井口磯夫(i-iguchi@jumonji-u.ac.jp)

====研究会申込受付中====

## 21世紀のリテラシーを考える

主催：日本教育情報学会・情報教養研究会

共催：大阪府私学教育情報化研究会

日本教育情報学会第20回年会（8月18日・19日 国立オリンピック記念青少年総合センター）の大会スローガン『教育情報、20年の歩み』に鑑み、実施予定のパネル討論に関連する研究会を京都にて開催します。皆さまお誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

日 時：2004年5月2日（日） 14:30～17:00 シンポジウム

17:30～19:30 懇親会

会 場：ぱ・る・るプラザ京都 6階 会議室6（シンポジウム）5階 会議室2（懇親会）  
（JR京都駅 烏丸中央口出て右の建物）

〒600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13 TEL:075-352-7444(代)

案内図：<http://www.mielparque.or.jp/kyt/kyt01.html>

参加費：無料

懇親会参加費：5,000円（当日会場でお支払いください）

### \*\*\* 基調講演と総括 \*\*\*

「21世紀のリテラシーを考える」 堀口秀嗣（常磐大学教授）

### \*\*\* パネルディスカッション \*\*\*

「21世紀が始まって感じた教育の今日的課題ーリテラシーを考えるー」

コーディネータ：林 徳治（山口大学教授）

話題提供者：義務教育で必要なリテラシーを考える 井上史子（山口市立宮野中学校教諭）

大学生に必要なリテラシーを考える 沖 裕貴（山口大学教授）

教師に必要なリテラシーを考える 北川敬一（大阪府立牧野高校教頭）

社会で求められるリテラシーとは 泉 廣治（兵庫県教育委員会指導主事）

情報教育とリテラシーを考える 米田謙三（羽衣学園高校教諭）

### ●参加申込み方法

E-mailまたはFAXに次の事項をご記入になり「リテラシーを考える研究会事務局 黒川マキ」までお送りください。様式は問いません。

〔件 名〕 21世紀のリテラシーを考える研究会 申込み

〔記入事項〕 ①氏名（ふりがな） ②所属 ③E-mailアドレス又はFAX番号

④電話番号 ⑤懇親会参加の有無

⑥会員種別（(1)日本教育情報学会会員 (2)情報教養研究会会員 (3)一般）

⑦ご意見（広く募集します）

### ●送付先

電子メール：[makkie@oak.ocn.ne.jp](mailto:makkie@oak.ocn.ne.jp) FAX：083-933-5310

### ●受講票

受講票をメール又はFAXで返信致します。当日、受講票をご持参ください。

### ●申込み締切

2004年4月24日（土）

※ 席数に限りがありますのでお早めにお申し込みお願いします。

※ 懇親会参加費は、当日会場でお支払いください。